

漁海況速報

No.21

平成16年6月4日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンターほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の勢力範囲は前週より沖合に移行し、本県沖距岸50海里までは11~13℃台に覆われている。
- ②黒潮系暖水の勢力は前週並みで、塩屋埼沖75海里以東には15℃台以上の水塊がみられる。
- ③定地水温は、小名浜では平年より2℃低く、大熊では平年より2.5℃低く、松川浦では平年より2℃高い。

見通し(1週間)

- ・親潮の南下、沖合からの暖水波及とともに弱いですが、表層では時期的な昇温がみられるでしょう

漁況情報(ホッキ)

- ・6月1日解禁となりましたホッキの水揚げ状況をお知らせいたします。
- ・昨年初漁時の平均単価は309円/kg、6月上半期の平均単価は263円/kgで、今年の初漁はそれらよりやや高めとなりました。

市場名	6月1日			6月2日		
	数量(kg)	金額(円)	単価(円/kg)	数量(kg)	金額(円)	単価(円/kg)
沼之内	553	145,163	263	564	148,050	263
四倉	2,345	545,055	232	2,762	597,461	216
富熊				28	10,106	367
請戸	637	355,368	558	836	394,577	472
鹿島	833	309,529	371	1,191	362,870	305
磯部	1,392	732,362	526	1,465	616,509	421
相馬原釜	599	299,383	500	638	262,421	411
合計	6,359	2,386,860	375	7,484	2,391,994	319

定地・定点水温の推移(℃)

場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
5/28	13.3	11.7	15.8	9.4
5/31	12.8	11.7	19.7	12.0
6/1	11.9	11.9	18.8	11.7
6/2	11.5	11.9	19.7	11.7
6/3	11.3	12.6	19.6	12.4

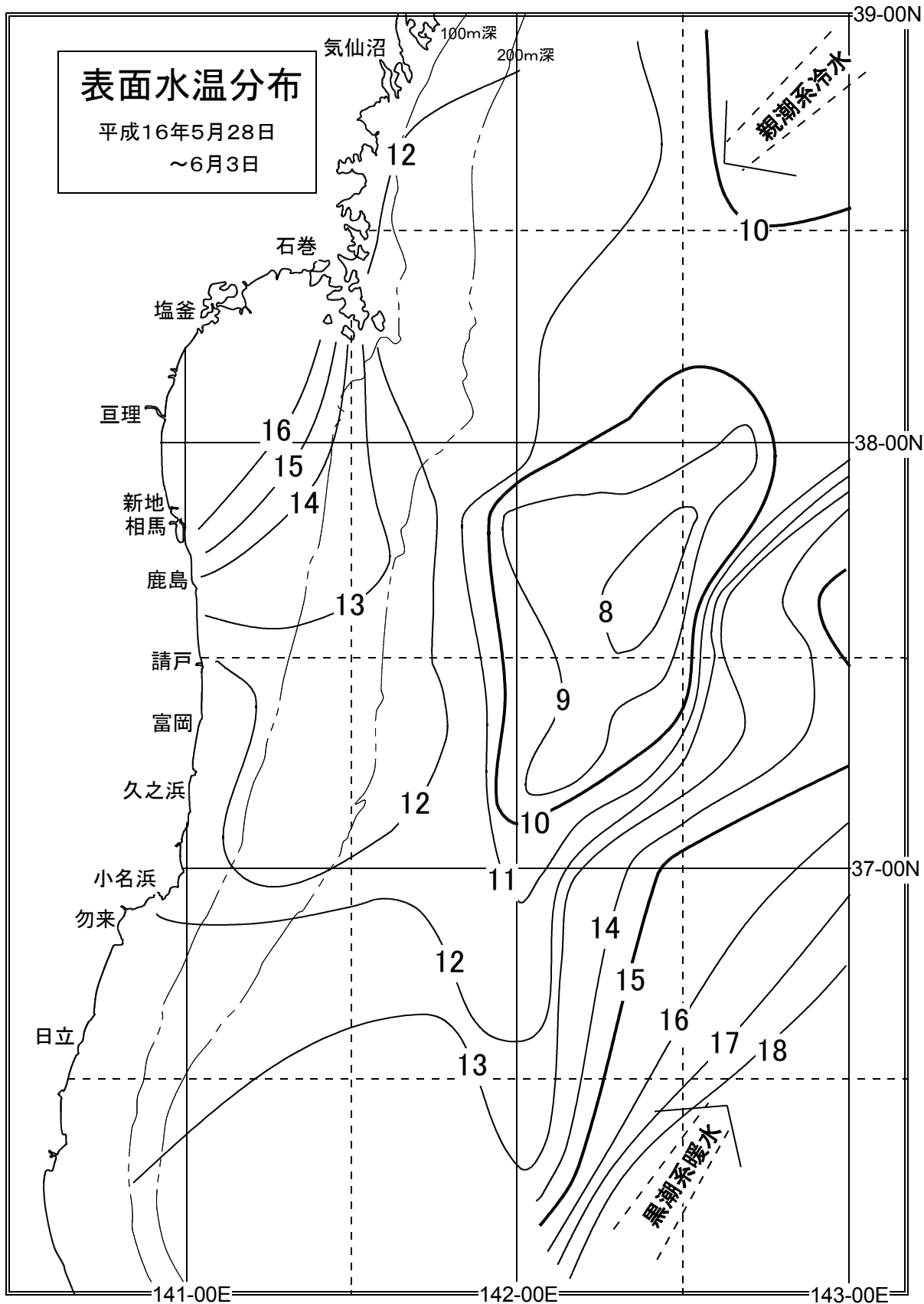
広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

平成14年同期

平成15年同期

表面水温分布

平成16年5月28日
~6月3日



漁海況速報

No.22

平成16年6月11日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンターほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の勢力は前週より弱まり、本県沖合は、ごく沿岸を除き14℃以上となった。
- ②黒潮系暖水の勢力は前週並み。
- ③定地水温は、小名浜、大熊ではでは平年より2℃低く、松川浦では平年並。

見通し(1週間)

- ・親潮の南下、沖合からの暖水波及ともに弱いですが、表層では季節的な昇温がみられるでしょう

平成16年6月分海洋観測結果

・6月1日に観測が終了した「いわき丸」による観測結果をお知らせいたします。

・今期は親潮系冷水の勢力が強く、塩屋埼沖の表面水温は平年と比べ「極めて低め」となり、全体でも「極めて低め」となりました。

定線ごとの水温とその前年差・平年差

観測点	表面水温			100m深		
	水温	前年差	平年差	水温	前年差	平年差
塩屋埼沖	11.20	-2.60	-7.00	6.54	+0.13	-2.65
富岡	11.59	-1.37	-3.80	6.17	-0.78	-2.69
鵜ノ尾埼沖	12.77	-0.57	-2.26	6.82	+0.19	-1.06
平均	11.85	-1.51	-4.35	6.51	-0.15	-2.13

前4ヶ月との比較

	表面水温			100m深		
	水温	前年差	平年差	水温	前年差	平年差
2月	8.8	-0.1	-1	8.5	-0.1	-0.9
3月	7.1	-0.2	-1.3	5.4	-1.5	-2.6
4月	8.4	0.6	-1.6	5.5	-1.5	-2.6
5月	11.2	1.2	-1.5	6.2	0.4	-1.6
6月	11.8	-1.5	-4.4	6.5	-0.2	-2.1

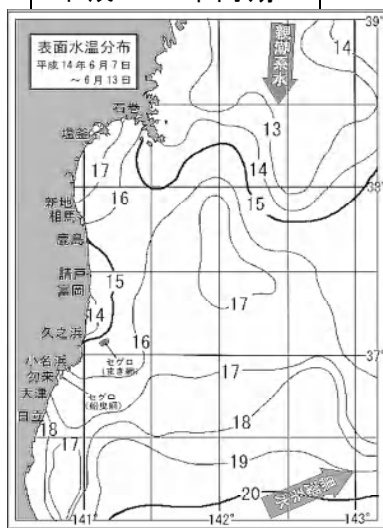
※平均値は50海里以内の平均値を用いた。

定地・定点水温の推移(℃)

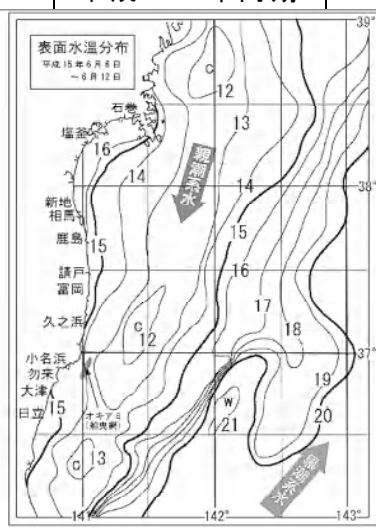
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
6/4	12.4	12.8	19.2	13.0
6/7	12.3	11.7	15.2	12.7
6/8	12.5	13.1	15.7	12.7
6/9	12.3	13.4	18.0	11.5
6/10	14.3	13.9	17.0	-

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

平成14年同期

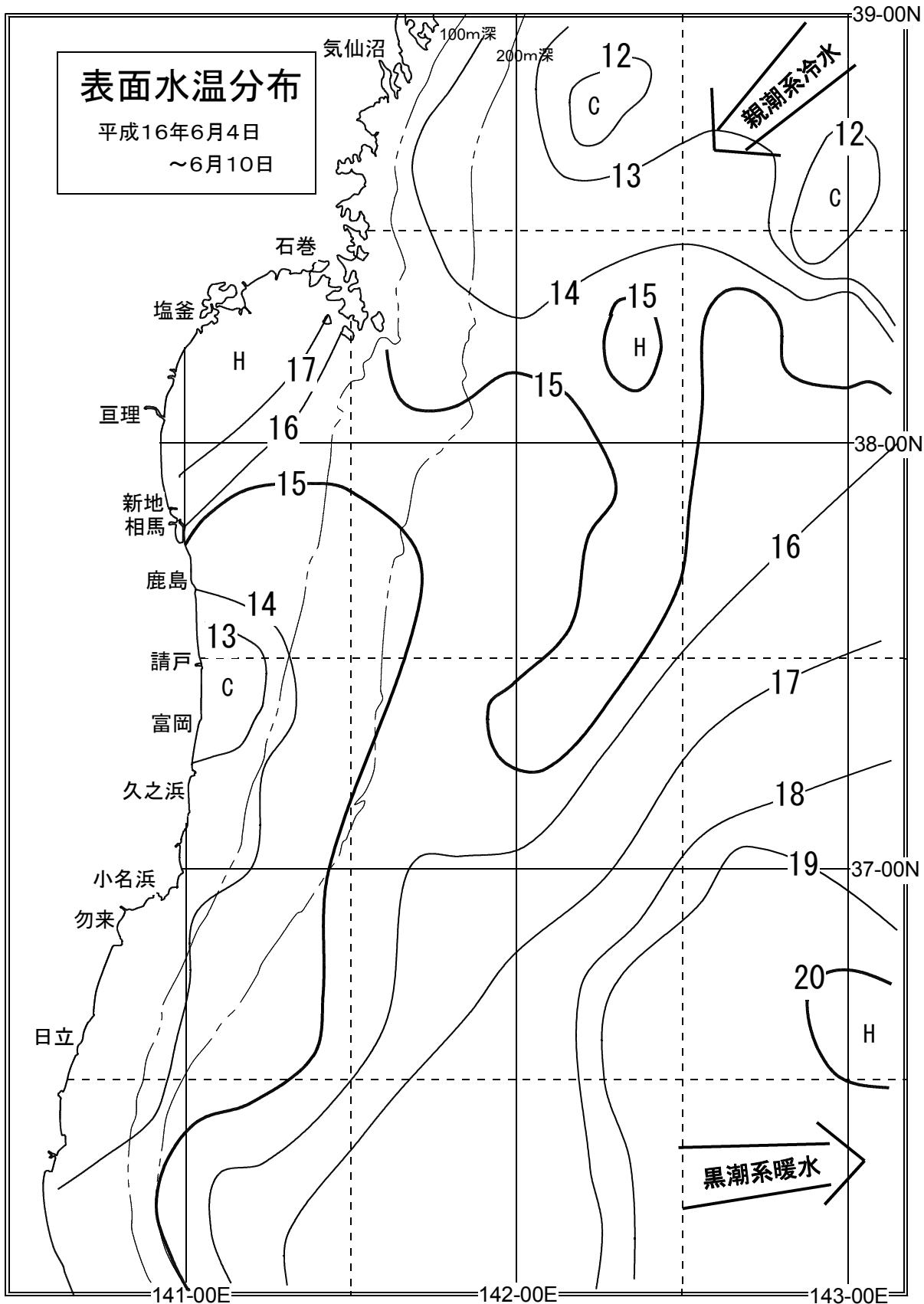


平成15年同期



表面水温分布

平成16年6月4日
～6月10日



漁海況速報

No.23

平成16年6月18日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンターほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の勢力は前週より強まり、14℃台が本県沖を帯状に分布している。
- ②黒潮系暖水の勢力は弱く、本県沖合への波及はみられない。
- ③定地水温は、小名浜、大熊ではでは平年より1℃低く、松川浦では平年より2℃高め。

見通し(1週間)

- ・親潮の南下が顕著ですが、表層では季節的な昇温がみられるでしょう

平成16年度東北海区海況予報 第2号(6~8月)

・北海道水研、東北水研より6月14日に発表された予報です。

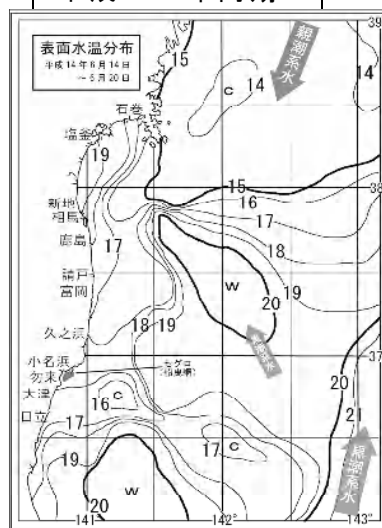
- 1 近海の黒潮の北限位置は、平年並~やや南偏(35°N~36°N)で推移する。
- 2 黒潮系暖水の北限位置は、近海で平年並~南偏で推移する。
- 3 釧路南東沖の暖水塊、および常磐沖の暖水塊は持続する。
- 4 親潮第1分枝の張り出しは、やや南偏(38°N以北)で推移し、三陸南部~常磐近海には冷水域が残る。
- 5 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並~やや強勢(143°E付近まで)で推移する。

定地・定点水温の推移(℃)

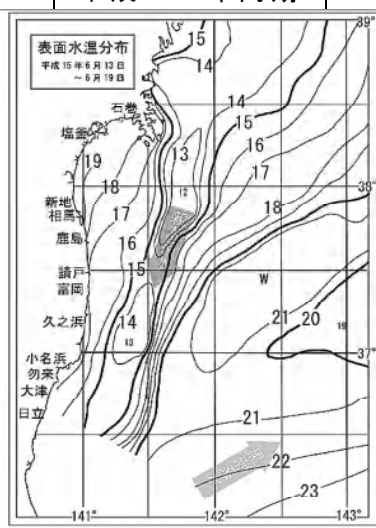
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
6/11	13.9	13.1	18.1	11.7
6/14	13.8	15.0	20.7	12.5
6/15	14.1	13.4	21.8	13.0
6/16	13.9	14.5	21.0	13.1
6/17	15.1	15.1	20.0	-

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

平成14年同期



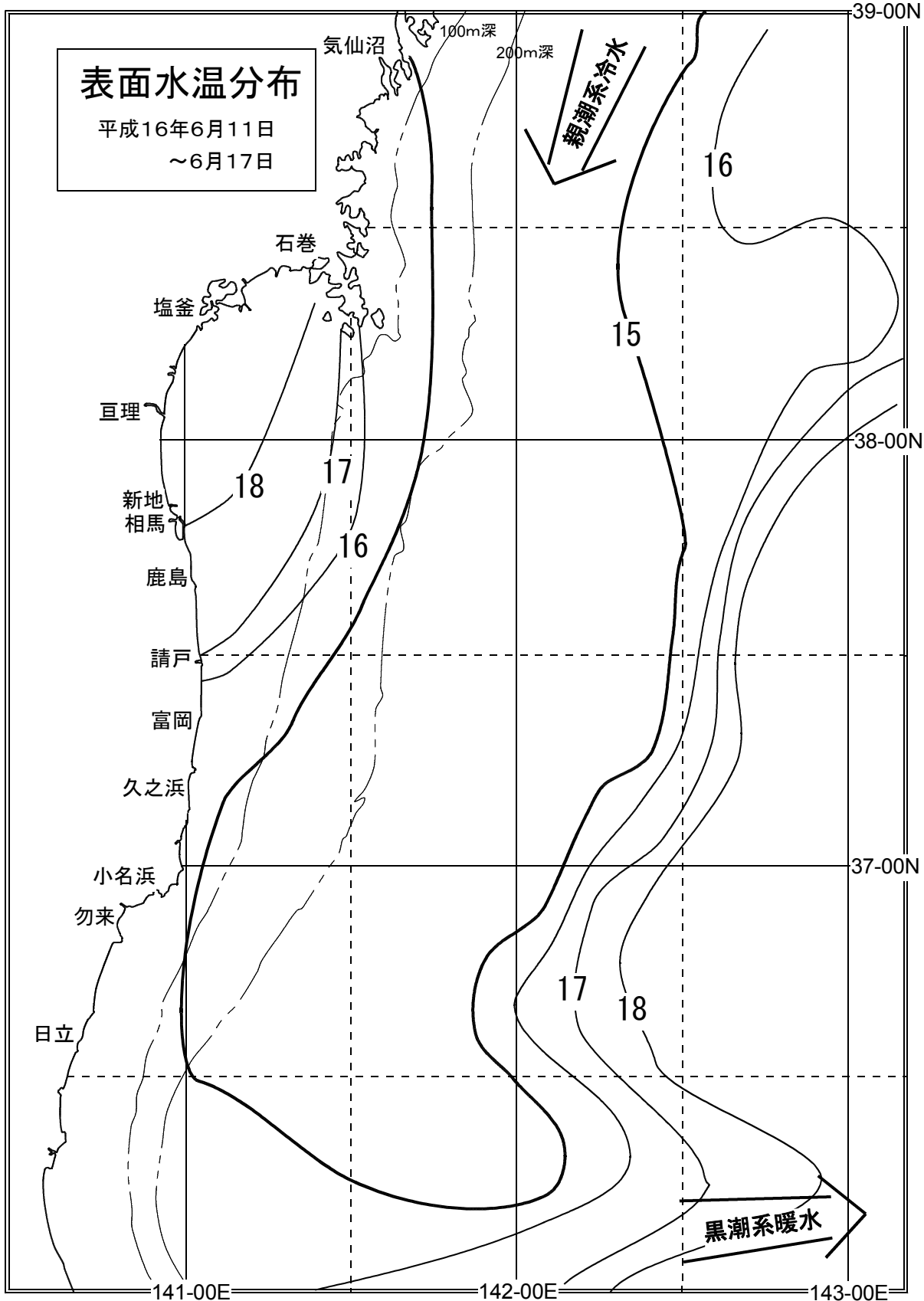
平成15年同期



表面水温分布

平成16年6月11日

～6月17日



漁海況速報

No.24

平成16年6月25日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンターほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の勢力は前週よりやや弱まり、16~7℃台が本県沖に広く分布している。
- ②黒潮系暖水の勢力は弱く、本県沖合への波及はみられない。
- ③定地水温は、小名浜、大熊では平年より2℃低く、松川浦では平年より1℃高め。

見通し(1週間)

- ・親潮の南下が顕著ですが、表層では季節的な昇温がみられるでしょう

平成16年度カツオ長期来遊資源動向予測

6月15日に開催された、平成16年度カツオ長期来遊資源動向検討会(独立行政法人水産総合研究センター遠洋水産研究所主催)で発表されました、カツオ長期来遊資源動向予測をお伝えします。

・予測される来遊資源量(6月~11月)

2004年6月以降の来遊資源量は、平年を下回る水準になる。

・予測される主分布域

1 北上期(6~8月)

主分布域は常磐・三陸東沖合37N~40N、144E~152Eに形成される。特に148E以東に多く分布するだろう。

2 南下期(9~11月)

主分布域は36N~39N、143E~150Eを中心とする海域に形成される。

・予測される魚体

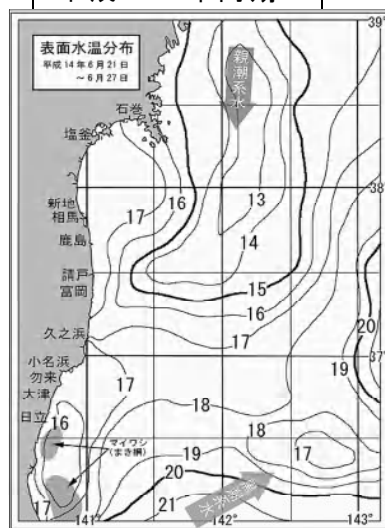
6月中旬現在、体長45~48cm・体重1.8~2.3kgの魚群が今後も来遊資源の中心となり、南下する秋には体長50cm、体重3kgを超える。

定地・定点水温の推移(℃)

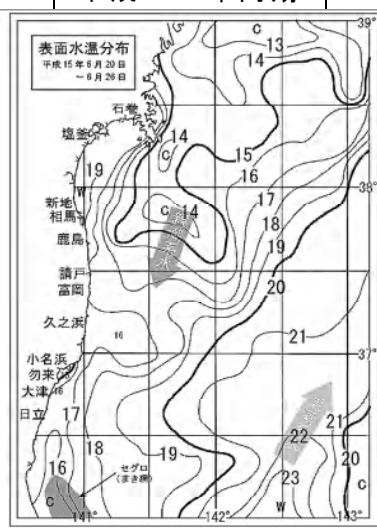
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
6/18	15.9	13.7	20.4	—
6/21	12.3	17.3	21.6	—
6/22	12.8	14.9	20.0	—
6/23	12.7	13.3	18.6	—
6/24	13.5	15.4	17.6	—

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

平成14年同期

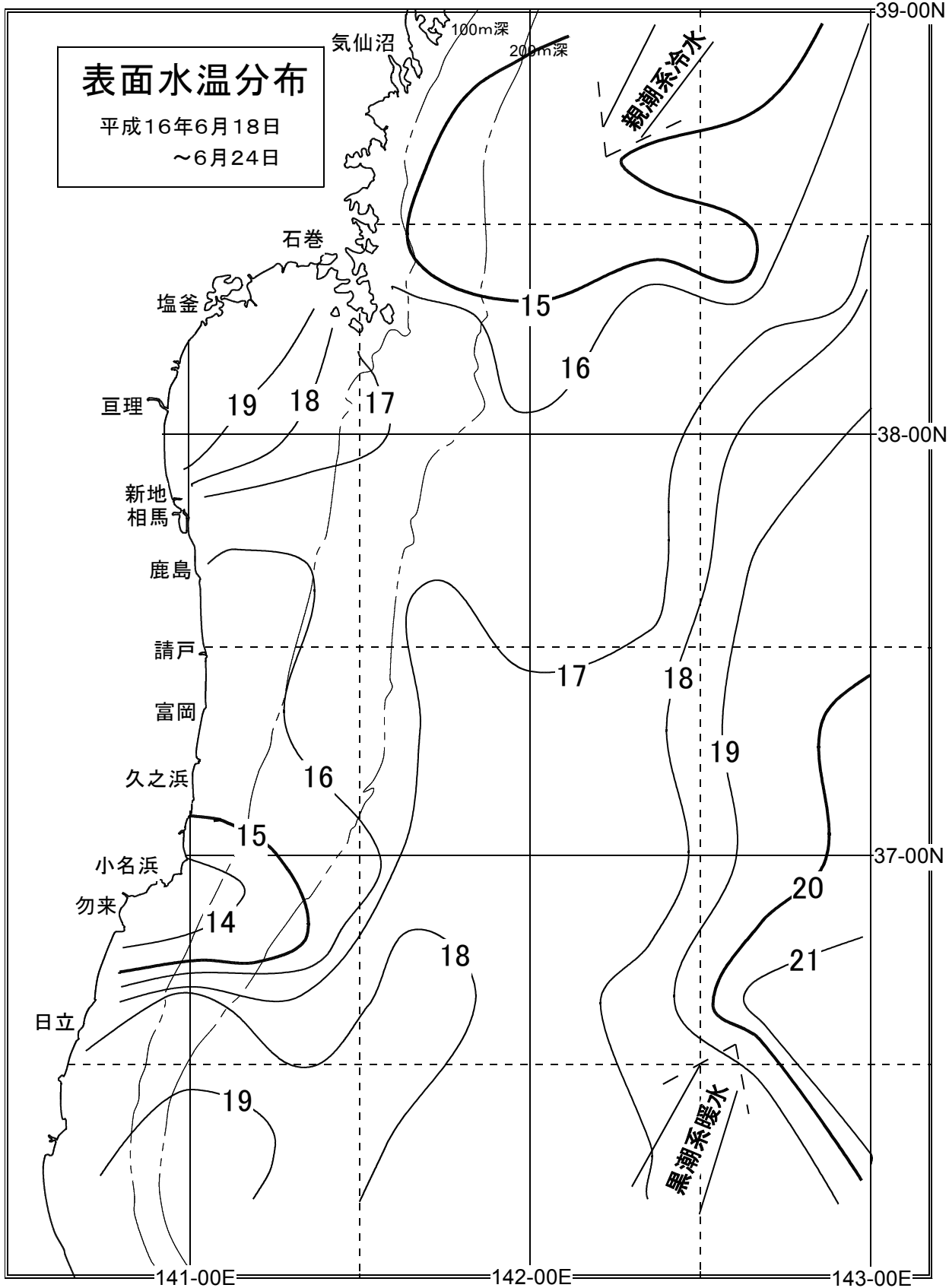


平成15年同期



表面水温分布

平成16年6月18日
～6月24日



漁海況速報

No.25

平成16年7月2日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンターほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の差込みが前週よりやや強まり、15℃台が鹿島町沖40海里付近にみられる。
- ②黒潮系暖水の勢力はやや強まり、本県中南部海域の距岸50海里以東に19～20℃台がみられる。
- ③定地水温は、小名浜、大熊では平年より1℃低く、松川浦では平年より2℃高め。

見通し(1週間)

- ・親潮の南下がみられますが、表層では季節的な昇温がみられるでしょう

漁況情報(まき網)

- ・平成16年6月までのまき網漁業の水揚げ数量と金額を以下にまとめました。
- ・数量は、昨年に比べ1.5倍であった5月以外は低調に推移し、6月までの合計では昨年の64%となっております。
- ・金額については、1～3月に昨年比が低調であったものの、4～6月に昨年の2倍～2.5倍の水揚げがあり、6月までの合計で昨年の188%になりました。

まき網漁業の水揚げ数量と金額

数量 単位:kg							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
平成15年	4,920,637	2,641,106	124,780	623,625	1,082,226	2,300,839	11,693,213
平成16年	1,504,509	1,548,155	129,938	632,012	1,683,971	1,979,353	7,477,938
前年比	30.6%	58.6%	104.1%	101.3%	155.6%	86.0%	64.0%

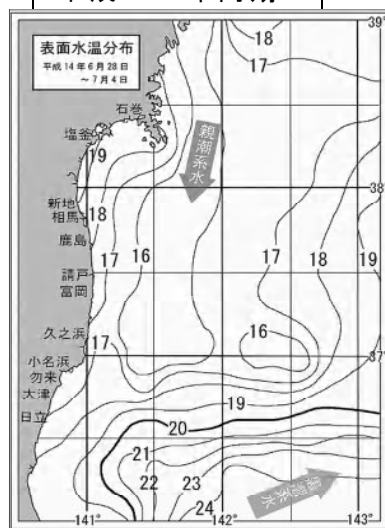
金額 単位:円							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
平成15年	90,849	59,096	3,528	96,280	270,458	297,152	817,363
平成16年	31,103	26,339	2,183	253,050	637,974	585,232	1,535,881
前年比	34.2%	44.6%	61.9%	262.8%	235.9%	196.9%	187.9%

定地・定点水温の推移(℃)

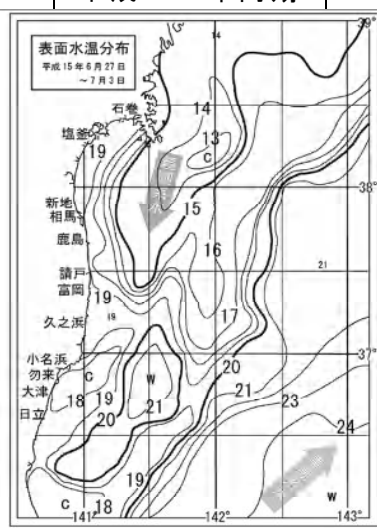
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
6/25	13.7	13.7	19.6	—
6/28	15.4	16.8	20.1	—
6/29	15.8	17.4	19.8	—
6/30	16.4	16.9	22.5	—
7/1	15.4	16.9	23.6	—

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

平成14年同期

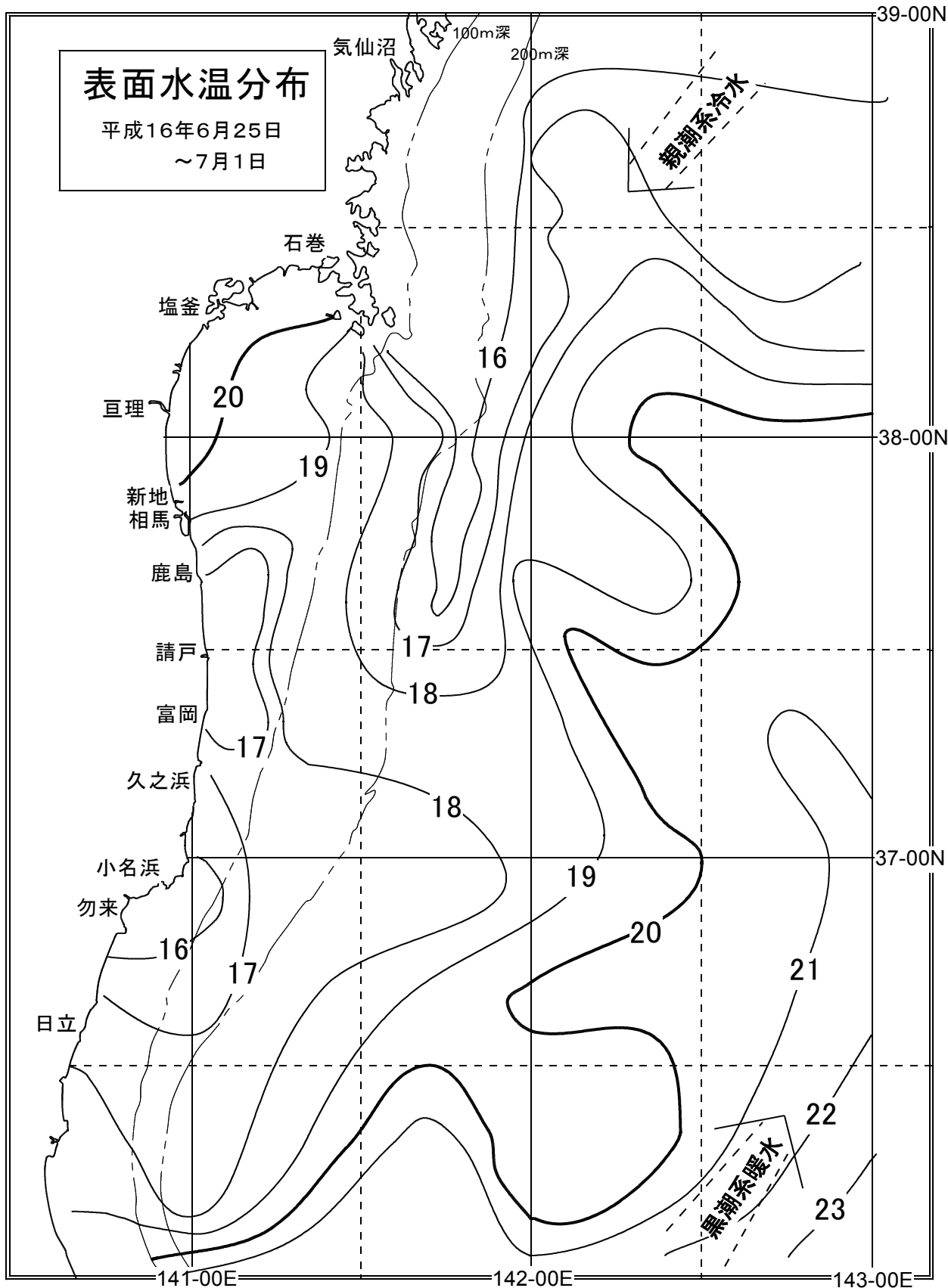


平成15年同期



表面水温分布

平成16年6月25日
~7月1日



漁海況速報

No.26

平成16年7月9日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンターほか

海況(表面)

- ① 親潮系冷水の差込みは前週並みで、本県沖距岸30海里付近には17℃台が帯状に分布している。
- ② 黒潮系暖水の勢力が強まり、本県中南部海域の距岸40海里以東は20℃以上となった。
- ③ 定地水温は、小名浜は平年並み、大熊では平年より1℃低く、松川浦では平年より2℃高め。

見通し(1週間)

- ・ 親潮系冷水、黒潮系暖水の勢力は現状並みで、表面の昇温傾向が継続するでしょう。

底びき網漁模様(速報値: H15年9月~H16年6月、

勿来・小名浜・沼之内・四倉・久ノ浜・相馬原釜)

底びき網の今期の漁模様についてお知らせします。

- ① 今期の漁獲量は約9,700トン、金額は約34億円で、前年同期に比べ量的に96%、金額的には87%にとどまりました。
- ② 漁獲金額を魚種別に見ると、今期も前期同様1位ヤナギダコ(6.0億円)、2位マダラ(2.5億円)、3位ナメタ(2.2億円)でした。
- ③ これら3種を量的に見ると、ナメタは増減が少ないものの、ヤナギダコ、マダラは約500トン増加しました。ヤナギダコ、マダラは狙い操業が顕著化したことと、ヤナギダコはここ数年の発生が良かったこと、マダラのH14年生まれが多かったことが反映しているものと思われます。
- ④ 一方、大きく減少したのは、アオメエソ(メヒカリ)、チダイ、スルメイカ(マイカ)、ヤリイカ等の来遊資源で、これらで約1,300トン、金額では約2.7億円減少しました。

順位	魚種名	漁獲金額 (億円)	今期 (トン)	前期 (トン)	対前期比 (%)
1	ヤナギダコ	6.0	2,897	2,368	122
2	マダラ	2.5	1,551	1,026	151
3	ナメタ	2.2	290	304	96
4	アナゴ	2.1	308	243	122
5	マガレイ	1.9	488	240	203

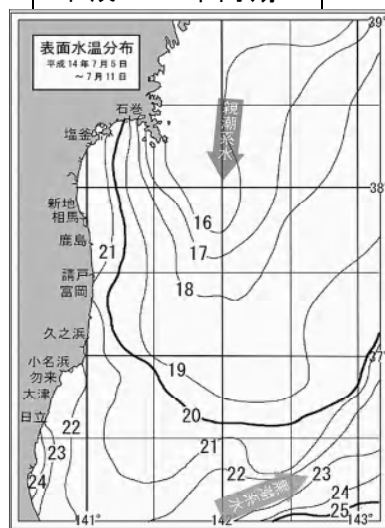
* 期間: 今期はH15年9月~H16年6月、前期はH14年9月~H15年6月。

定地・定点水温の推移(℃)

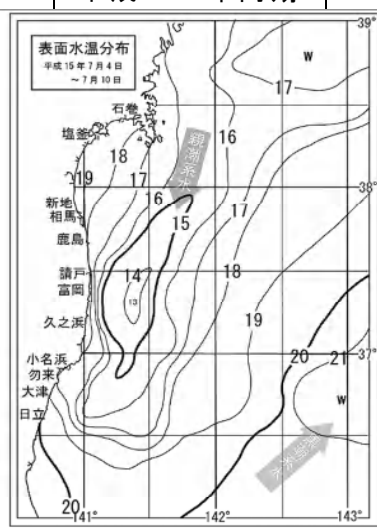
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
7/2	15.5	17.9	23.7	15.4
7/5	18.1	15.6	21.2	15.6
7/6	17.9	15.8	22.3	16.0
7/7	16.9	19.2	22.8	16.6
7/8	17.8	18.5	21.8	15.5

広野沖: 37-18N, 141-27E (約40km 沖)

平成14年同期



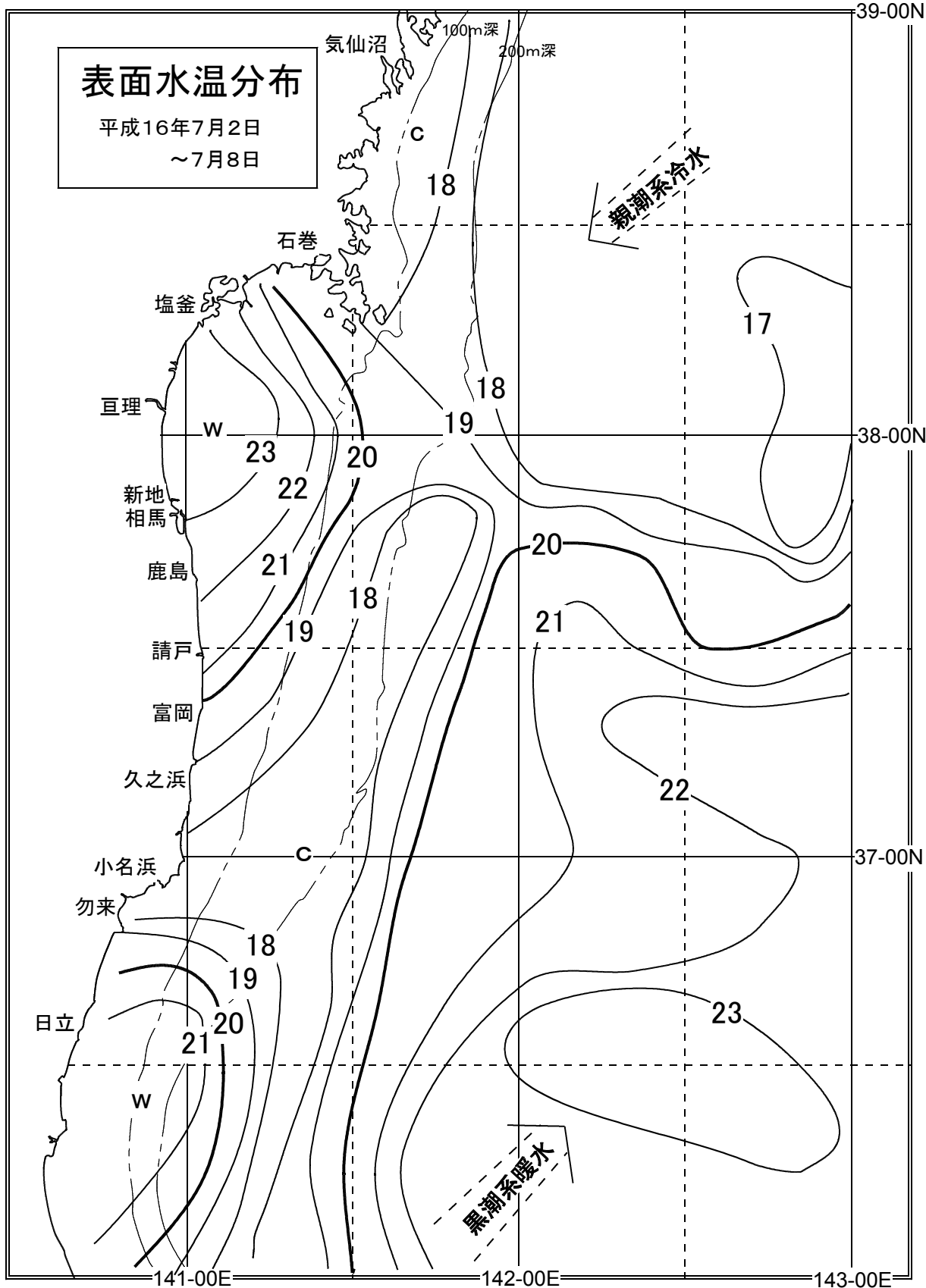
平成15年同期



表面水温分布

平成16年7月2日

～7月8日



漁海況速報

No.27

平成16年7月16日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンターほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の差込みは前週並みで、本県沖距岸50~30海里付近に17~19℃台が差し込んでいる。
- ②黒潮系暖水の勢力は前週並み、塩屋埼沖距岸30海里以東は20℃以上となった。
- ③定地水温は、小名浜は平年より1℃高め、大熊では平年並、松川浦では平年より2℃高め。

見通し(1週間)

- ・親潮系冷水、黒潮系暖水の勢力は現状並みで、表面の昇温傾向が継続するでしょう。

平成16年7月海洋観測結果

平成16年7月5日~7日に調査船「拓水」で行った沿岸定線観測結果をお知らせします。

- ・表面水温は、昇温し平年並みとなりました。
- ・100m深水温は、低め基調が継続しています。

距岸50海里以内の平均水温の推移(単位℃)

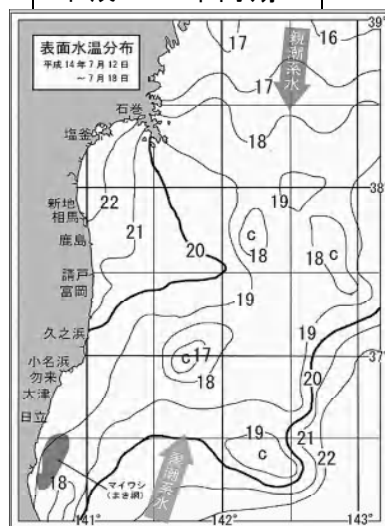
表面水温	水温	前年差	平年差
2月	8.8	-0.1	-1.0
3月	7.1	-0.2	-1.3
4月	8.4	+0.6	-1.6
5月	11.5	+1.0	-1.1
6月	12.5	-0.7	-2.9
7月	18.5	+1.3	-0.2
100m深	水温	前年差	平年差
2月	8.5	-0.1	-0.9
3月	5.4	-1.5	-2.6
4月	5.5	-1.5	-2.6
5月	7.1	+1.0	-0.8
6月	7.9	+0.9	-0.8
7月	7.2	-1.6	-2.6

定地・定点水温の推移(℃)

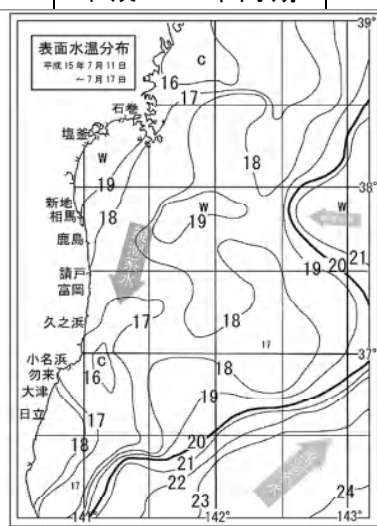
場所	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
月日				
7/9	18.7	21.2	22.3	16.3
7/12	19.2	21.6	22.2	17.6
7/13	19.6	19.0	22.2	17.6
7/14	19.1	19.8	21.4	17.3
7/15	19.3	18.8	21.8	17.5

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km沖)

平成14年同期



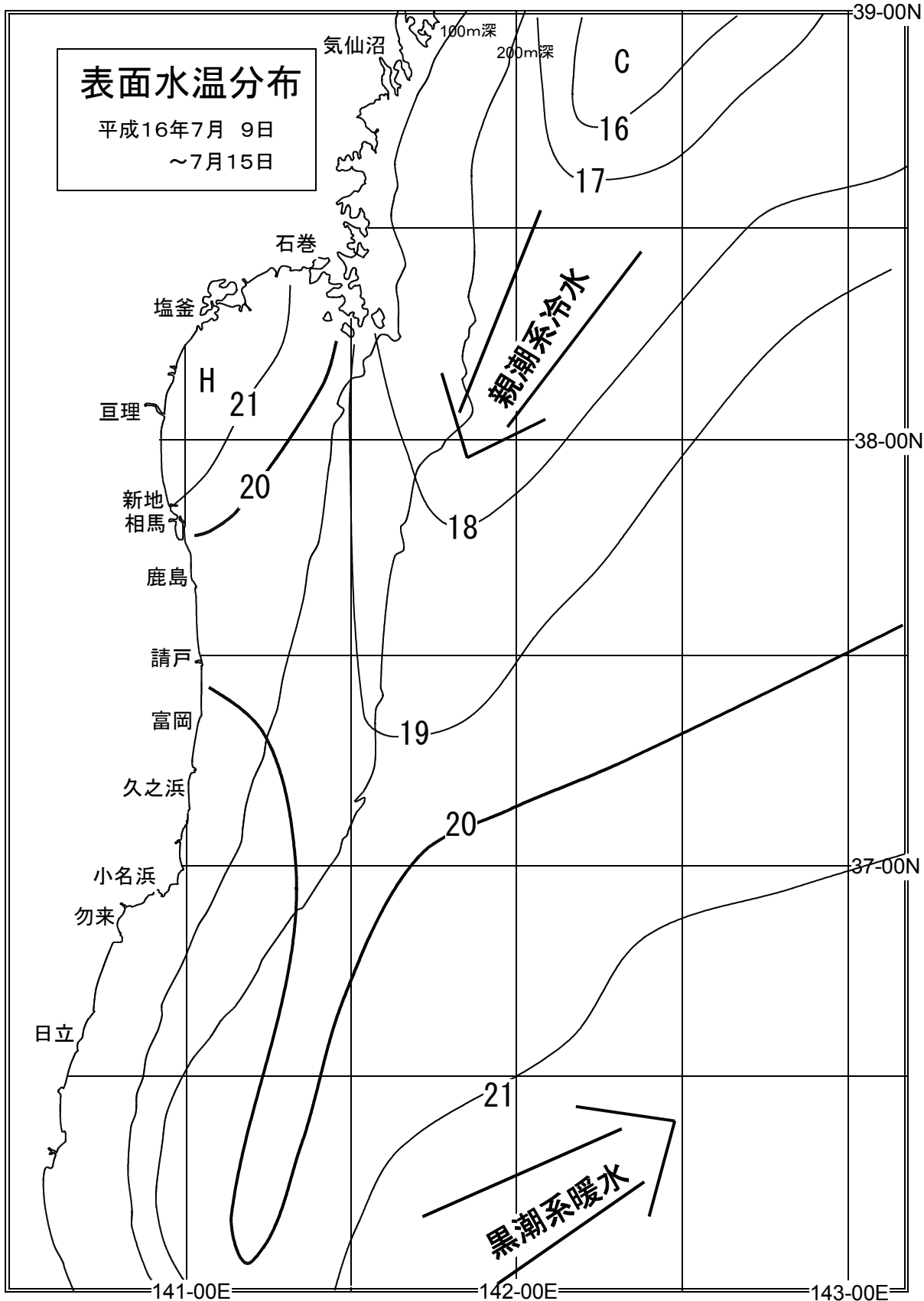
平成15年同期



表面水温分布

平成16年7月 9日

～7月15日



漁海況速報

No.28

平成16年7月23日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンターほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の差込みは前週並みで、本県沖距岸20~40海里付近に18℃台が差し込んでいる。
- ②黒潮系暖水の勢力は前週並みだが、本県中南部沖距岸40~50海里以東は概ね20℃以上となった。
- ③定地水温は、小名浜・大熊では平年並、松川浦では平年より1℃低め。

見通し(1週間)

- ・親潮系冷水、黒潮系暖水の勢力は現状並みで、表面の昇温傾向が継続するでしょう。

平成16年度第1回太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報

7月20日に発表となりました「平成16年度第1回太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報」の要約をお伝えいたします。

海況

- ・日本南岸の黒潮は、8月にA型となり、期間中持続する。
- ・犬吠埼以北の沿岸水温は、「平年並み」~「かなり低め」で推移する。

漁況(来遊量予測)

- ・マサバ・ゴマサバ(犬吠~三陸海域(まき網、定置網))

マサバ0歳魚は前年を大きく上回る。マサバ1歳魚は前年を大きく下回る。2歳魚は前年を上回る。3歳以上は少ない。マサバとしては前年並み。ゴマサバ0歳魚は少なかった前年を大きく上回る。1歳魚は少なかった前年並み。2歳魚は前年を上回る。3歳以上は少ない。ゴマサバとしては低調であった前年を上回る。サバ類全体としては、前年をやや上回る。

- ・マイワシ(房総~道東(まき網、定置網))

依然として低水準である。0歳魚は前年並み。1歳魚、2歳魚は前年を下回る。

- ・カタクチイワシ(房総~道東(まき網、定置網))

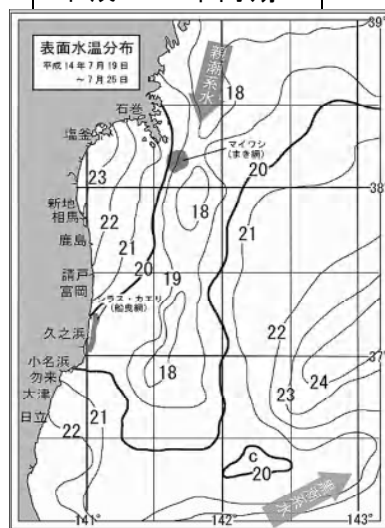
前年並みかやや下回る。

定地・定点水温の推移(℃)

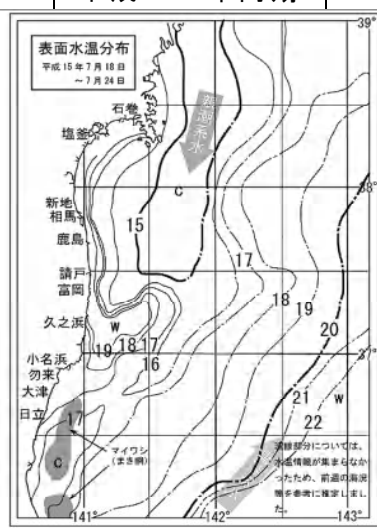
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
7/16	19.8	20.0	22.6	17.1
7/19	—	—	—	17.2
7/20	18.3	20.2	23.5	17.6
7/21	17.8	18.7	22.8	17.3
7/22	18.1	19.9	21.6	17.5

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km沖)

平成14年同期

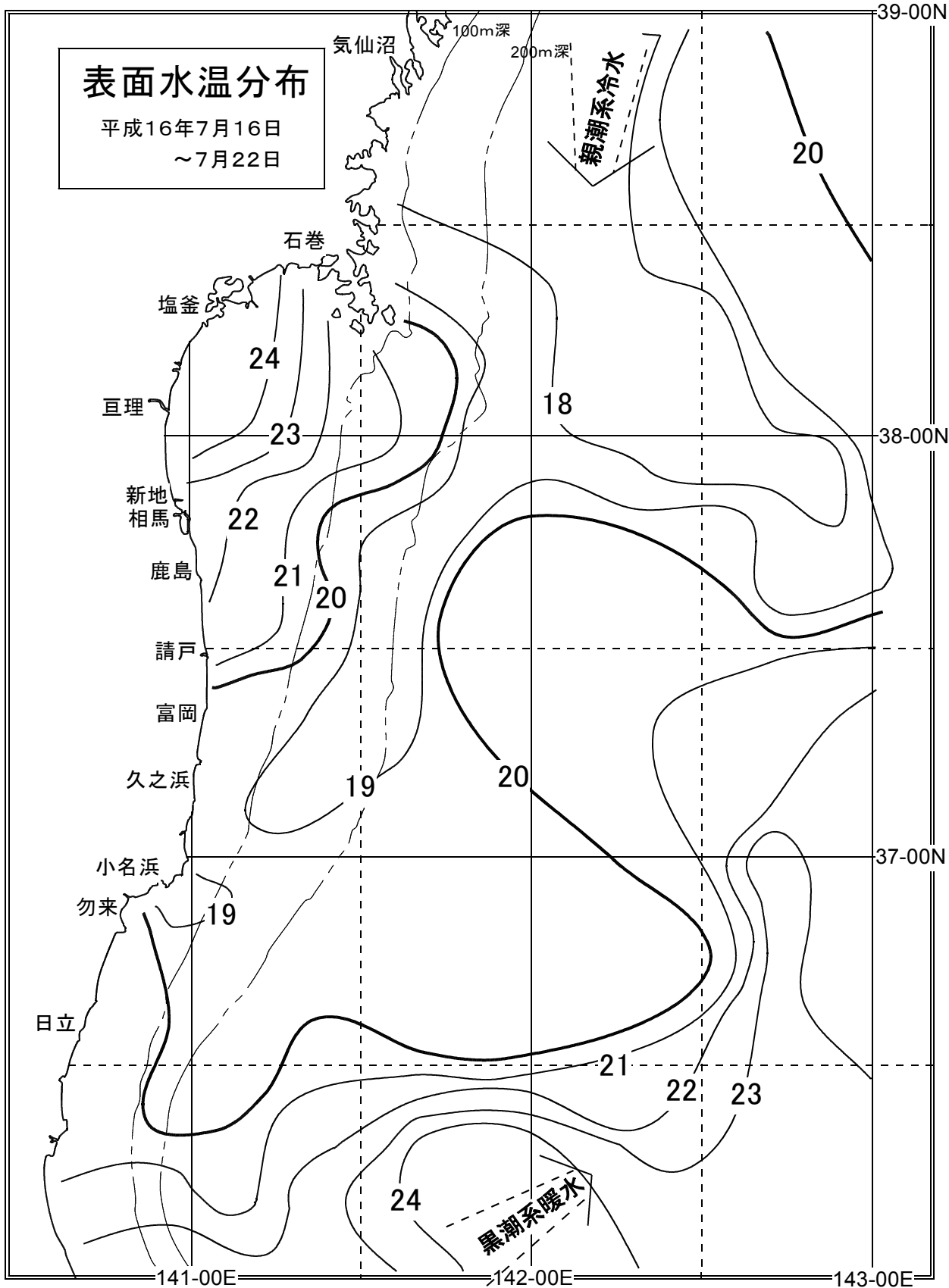


平成15年同期



表面水温分布

平成16年7月16日
~7月22日



漁海況速報

No.29

平成16年7月30日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンターほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の差込みは前週並みで、本県沖中北部海域距岸40海里付近及び小名浜沖距岸25海里付近に18℃台がみられる。
- ②黒潮系暖水の勢力は前週並みだが、本県沖距岸40海里以東は概ね20℃以上となった。
- ③定地水温は、小名浜は平年並、大熊では平年より2℃低く、松川浦では平年より1℃高い。

見通し(1週間)

- ・親潮系冷水、黒潮系暖水の勢力は現状並みで表面の昇温傾向が継続するでしょう。

貝毒情報

平成16年7月12日に小名浜港で採捕したムラサキイガイから下痢性貝毒が検出され、平成16年7月16日より採捕および出荷等が規制されました。

一貝毒とは一

貝毒は、中毒の症状から、麻痺性貝毒と下痢性貝毒に分けられます。いずれも海水中に繁殖した有毒プランクトンを二枚貝等が摂食し、貝の体内に毒を蓄積することにより発生します。主にホタテガイ、アサリ、カキ、ムラサキイガイ等が毒化します。毒成分は、熱に強いので、加熱調理しても毒性は変化しません。

麻痺性貝毒とは、その名の通り食べると麻痺性の中毒を起こし、呼吸麻痺により死亡することもある非常に怖い毒です。この毒に対する効果的な治療薬はなく、毒成分はサリン、VXガス同様、化学兵器として登録され、製造や使用が厳しく規制されています。日本でも、過去に中毒による死者が出ています。

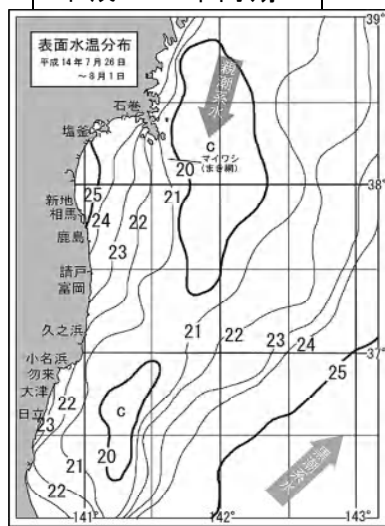
下痢性貝毒とは、その名の通り食べると下痢、吐き気、腹痛等胃腸障害を起こす毒ですが、死亡例はなく、回復も比較的早く、後遺症もないため、生命に対する危険度は、麻痺性貝毒より低いと考えられます。

定地・定点水温の推移(℃)

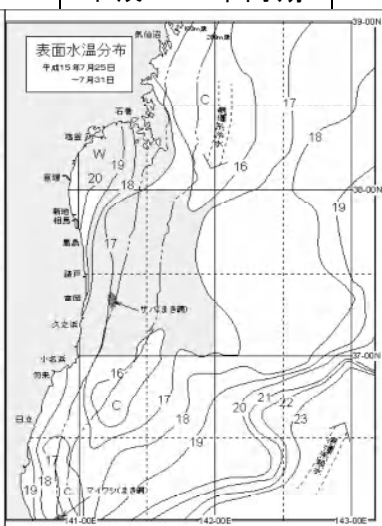
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
7/23	19.1	17.9	22.1	16.1
7/26	18.6	16.3	24.0	19.3
7/27	18.5	15.8	21.0	18.0
7/28	18.7	16.6	24.2	17.8
7/29	18.7	18.6	24.9	19.7

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

平成14年同期

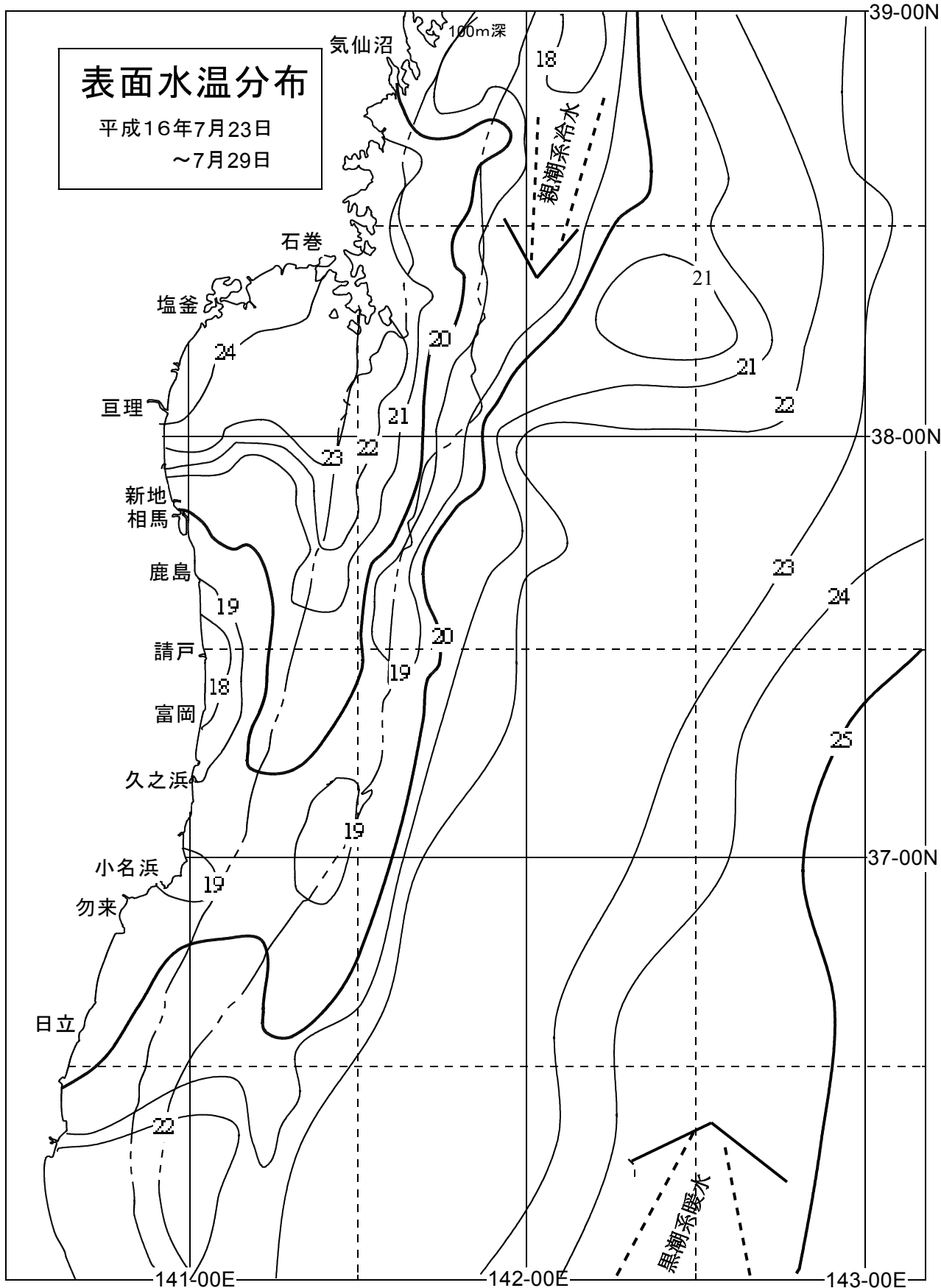


平成15年同期



表面水温分布

平成16年7月23日
～7月29日



漁海況速報

No.30

平成16年8月6日発行

福島県水産試験場

〒970-0316 いわき市小名浜下神白字松下13-2

TEL0246-54-3151 FAX0246-54-9099

ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/suisi/>

協力機関:

県内各漁業協同組合

磐城沖石油開発(株)

宮城県水産研究開発センター

茨城県水産試験場

(社)漁業情報サービスセンターほか

海況(表面)

- ①親潮系冷水の差込みは前週より弱まり、前週距岸20海里付近にみられた18℃～19℃台の冷水は無くなった。
- ②黒潮系暖水の勢力は前週並みで、本県沖距岸30海里以東は概ね20℃以上となった。
- ③定地水温は、小名浜で平年より1℃低く、松川浦では2℃低く、大熊では4℃低い。

見通し(1週間)

- ・親潮系冷水、黒潮系暖水の勢力は現状並みで表面の昇温傾向が継続するでしょう。

平成16年8月沿岸定線観測結果

・8月2日～3日に「いわき丸」で行った福島県沿岸定線観測結果をお知らせします。(下表は℃、50海里以内の平均)

・表面水温は時化の影響により灘側で降温しました。特に鵜ノ尾埼沖は平年より極めて低めになりました。50、100mではマイナス基調の平年並みでした。

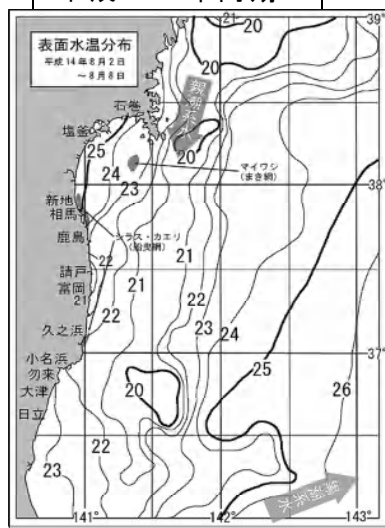
		表面	50m深	100m深
観測値 平均	塩屋埼	20.60	13.46	11.17
	富岡	19.97	12.33	8.28
	鵜ノ尾埼	18.39	11.43	9.30
	平均	19.65	12.54	9.70
平年差	塩屋埼	-2.00	0.14	0.98
	富岡	-2.60	-0.99	-2.25
	鵜ノ尾埼	-4.21	-1.78	-0.59
	平均	-2.94	-0.74	-0.50

定地・定点水温の推移(℃)

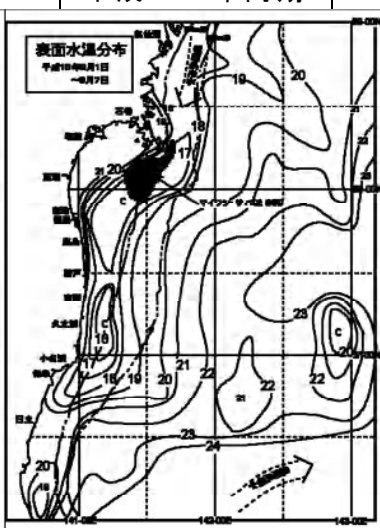
場所 月日	小名浜	大熊	松川浦	広野沖
7/30	19.3	20.6	26.1	-
8/2	20.1	15.9	21.5	-
8/3	19.4	15.4	21.0	-
8/4	19.0	15.1	19.6	-
8/5	18.1	15.5	19.6	-

広野沖:37-18N, 141-27E(約40km 沖)

平成14年同期



平成15年同期



表面水温分布

平成16年7月30日

～8月5日

